

第20回

新しい共感者、  
社会へのアピール



# 全国シェルター シンポジウム 2017 in 東京

あなたにも  
できる

分科会 一般社団法人ウェルク主催

在住外国人支援

次世代育成

## 暴力防止のための グローバルな社会貢献

暴力防止のための若者世代との現状共有  
理解と協力の輪を広げよう

DV・暴力被害の  
新たな支援



NO MORE VIOLENCE



日時 2017年10月1日(日) 15:00 ~ 16:30

会場 文京区内の施設 参加費 3500円 (シェルターシンポジウムの議員フォーラムと2つの分科会に参加できます)

定員 99名 申込 申込と参加費振込み締切 9月10日(日) (申込方法:裏面参照)

この分科会をきっかけに、今秋11月から交流学習会を3回開き、ワークショップを通して具体的な提案やプランを考えていきます。

あなたにも  
できる

# 暴力防止のためのグローバルな社会貢献

ドメスティック・バイオレンス (DV) や虐待、人身取引などの暴力は、グローバルな社会問題です。支援者の高齢化や日本社会全体でこれらの問題や現状を共有できていないことで、課題解決を困難にしているケースも多い。ウェルクでは、非暴力な次世代社会を目指し、日本人はもとより在住外国人も含めた DV 被害者支援の輪を幅広い世代へ伝え理解と協力得れるよう取り組みたいと考えます。

今回は若い世代のオピニオンリーダーの方々と現状を共有し、暴力防止・抑止への理解と支援の輪を広げる為の具体的な取り組みに繋がる意見交換を行います。

## ◆出席者

### ファシリテーター

西田陽光さん 一般社団法人次世代社会研究機構 代表理事

### パネリスト

千田有紀さん 武蔵大学教授

方こそもさん (社福) 礼拝会 母子生活支援施設カサ・デ・サンタマリアアフターケア担当職員

山岸素子さん 移住者と連帯する全国ネットワーク事務局長

佐々木健介さん NPO法人エティック ソーシャルイノベーション事業部マネージャー

### ■申込方法

シェルターシンポジウムのサイトの分科会からお申込みください。

URL : <http://no-more-violence.net/>

■問い合わせ 一般社団法人ウェルク [contact@werc-women.org](mailto:contact@werc-women.org)

## ◆分科会内容

■暴力被害者支援現場で活動している人たち、ジャーナリストや研究者、点としての市民の活動をつなぎ面にして広げていく人たちから、お話し頂き、その後、ディスカッションを展開します。

■暴力、虐待の存在を知ってもらい、多くの方々の関心と認知度をたかめ、暴力の抑止のためにできることについて意見交換、具体的な展開に向けて考えていきたいと思えます。

■この分科会をきっかけに、今秋11月から交流学習会を3回開き、ワークショップを通して新たな共感者や次世代育成について具体的な提案やプランを考えていきます。



せんだ ゆき  
千田有紀さん  
武蔵大学教授

専門は、家族社会学、ジェンダー論、現代社会論など。ヤフーニュースなどで、CMの炎上などジェンダーにかんして、また離婚後の親子の関係のありかたと暴力についてなどの家族について、発信している。

著書に『日本型近代家族—どこから来て、どこへ行くのか』(勁草書房)、『女性学/男性学』(岩波書店)、共著に『ジェンダー論をつかむ』(有斐閣)など。



やまぎし  
山岸素子さん

移住者と連帯する全国ネットワーク事務局長、カラカサン〜移住女性のためのエンパワメントセンター共同代表

1990年代始めより、移住者(外国人)支援運動にかかわる。よりそいホットライン外国語ライン専門コーディネーター、日本カトリック難民移住移動者委員会委員、立教大学非常勤講師などを兼任。移住女性と子どもの直接支援、移住者の人権に関するアドボカシー活動、多文化共生に関する啓発活動に携わる。



にした ようこう  
西田陽光さん  
(一社) 次世代社会研究機構 代表理事

1997～2013年政策シンクタンク運営委員、医療提言・教育提言等数々の政策提言と世論形成。

日本初の「男性のWLB」提唱によりイクメンブーム牽引。1998～2017年、大学生の政策研究による人材育成。2014～現在、「女性のリベラルアーツ講座」「子育て知事同盟企画」等多数の子育て支援企画、さいたま市中小企業支援CSR委員、児童福祉法改正世論形成により法改正により「子どもの権利」を法律化。



ほん  
方こそもさん  
(社福) 礼拝会 母子生活支援施設カサ・デ・サンタマリアアフターケア担当職員

社会福祉士。滞日外国人支援、医療通訳、心理相談等。障がい者複合施設アガベセンター生活支援員を経て、韓国女性家族部管轄「移住女性緊急支援センター」(現タヌリコールセンター)にて日本語・英語相談員として移住女性のDV被害、生活支援等に関わる。現在、横浜市で母子世帯の自立支援コーディネートや外国籍母子世帯の支援。共著「移住女性と相談—韓国移住女性緊急支援センター相談員の経験」『相談のカー—男女参画社会と相談員の仕事』(明石書店)



さ さ き けんすけ  
佐々木健介さん  
NPO法人エティック ソーシャルイノベーション事業部マネージャー

エティック (ETIC.:Entrepreneurial Training for Innovative Communities) は、社会的課題を解決しイノベーションを起していく「社会起業家」のスタートアップを支援するNPO。仕事に幸せを感じ毎日感謝できる、そんな人たちが増えていって、複雑で深刻な世界のいろんな問題が解決されていくんだらうと思っています。まずは、自分から。慶應義塾大学総合政策学部卒業。AIESEC in JAPAN MCP2000/01。